

## 留学生余話⑫

ネパールの「イエス」は？  
ベトナムの言い訳文化とは？

ネパールでは肯定する時に首を横に振る習わしがある。つまり、その動作だけでは、日本では「いいえ」に相当する。ネパールスタッフに「明日の鍵当番代わってくれる？」と言うと、首を横に振りながら、「はい」と言う。「ええ？どっちなの？」と聞き直さねばならない。アルバイト先で誤解されるといけないので、「はい」、「いいえ」は言葉で伝えて、首振りは控えるようネパールの留学生には伝えてある。

また、ベトナムでは、日本でいう「潔さ」がカッコいいとはされない。日本では失敗をすぐに認めると「潔い」と賞されるが、ベトナムでは粘り強く言い訳を繰り返して、最後の最後に自分の主張が通れば、それが「良し」と評価されるらしい。「どうして遅刻したの？」、「僕は時間通り家を出ました。バスが遅れたのです。僕は悪くないです。」「では、遅延証明書を見せて」、「そ、それはもう暇がありませんでした。それに証明書が必要なんて知りませんでした。これも僕のせいではありません！」と言い訳が延々と続く。時々キレそうになるが、ベトナムの業者から絶大の信頼を得ている校長に言わせれば、「言い訳もベトナムの文化だから、頭ごなしに怒ってはいけない。そしてその文化は、粘り強く戦争を戦った故でもあるのだよ」と。そう言われると、成程と納得できるような気もする。

(白)